

栄養クリニックの開設9年目を振り返って

教育・研究・地域貢献という三つの目的を掲げて平成20年に開設した京都女子大学の栄養クリニックは、まもなく開設10年を迎えようとしています。栄養クリニックがここまで順調に歩むことができましたのも、支えていただいている多くの皆様のおかげであると感謝しております。特に、開設当初からご尽力されてきた前クリニック長の田中 清教授、現副クリニック長の木戸詔子名誉教授、現家政学部長の中山玲子教授、クリニックスタッフの先生方、食物栄養学科の先生方、そして、芝原理事長様、楠木事務局長様をはじめ学園の皆様方に厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の活動報告書をお届けさせていただきます。今年度も、健康料理教室、レシピ甲子園コンテスト、附小スクールランチ、学園祭イベント、地域や企業との連携事業、東日本大震災の支援、学会発表など多くの活動を行うことができました。また、食物栄養学科のすべての先生方には指導教員あるいは研究員として栄養クリニックに参画していただきました。さらに、講義、実習、ゼミ、アセスメント、料理教室など多方面に渡って、学生の学習の場となっていることも本学の栄養クリニックの特徴の一つであります。主に卒業生を対象としたメールマガジンの配信も開始し、卒業生との絆も深まりつつあります。

一方で、栄養クリニックには、取り組まなければならない様々な課題もあります。10年という節目の年に開設当初の目的を再度振り返り、次の10年に向けて食物栄養学科の先生方と更に連携を深め、皆様のご協力をいただきながら、栄養クリニックの使命を全うできるよう努力を重ねていければと考えています。

今後とも、益々のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成29年2月10日

京都女子大学栄養クリニック長
宮 脇 尚 志